

上宮津公民館だより

第 64 号
平成 28 年
3 月発行

春によせて

公民館長 智原芳明

今年の積雪は公民館の玄関先をよける程度で、私の記憶する中では最も少なかったように思います。

冬の料理には欠かせない大根は正月を過ぎたころから簾が入り始め、葉物野菜にあっては黄色や白の花が咲いているのを見かけるなど、暖冬であることを改めて感じたところでした。

しかしながら、午前中は暖かい南風で春の訪れかと思いきや夕方には肌を刺すような北風で冬に逆戻りしてしまいう日が目立ち、寒暖の差が大きかったのも特徴といえます。

公民館前の駐車場は水道管が損傷して水が漏れ出したり、小学校の玄関ではモルタルの

ひび割れからしみ込んだ水が凍り、見るも無残にタイヤが剥がれ落ちました。

行きつけの床屋さんも「店を開いて50年になるけど洗髪台の水が凍ったのは初めてだった」と驚かれています。

暖冬という言葉を鵜呑みにして油断していたこともあり、私たちににとっては健康維持が難しく、ましてや高齢者の皆様にとっては厳しい冬であったと思います。

暖冬は地元上宮津にも影響を与えてしまいました。

年末のスキー場開き以降、深雪と大勢のスキーヤーを心待っていた大江山スキー場でしたが、融雪が速く、2週間程度の営業で地元やスキー場開

係者の期待が削がれてしまう結果となりました。

地域にとって伝統ある大江山スキー場ですが、自然の恩恵に左右される資源活用の難しさを改めて知らしめて行き去ってしまった冬將軍でした。

さて、春の訪れを聞くと、上宮津小学校が閉校になってまもなく1年が経過します。

学校の管理棟や教室棟は市役所が管理され、体育館、グラウンド、それにプールもまた使用許可が必要です。

公民館は補完的に、鍵の管理や戸締りをしています。

体育館では剣道・バレーボール・健康広場・バドミントン、グラウンドは少年野球・グラウンドゴルフと、閉校前と変わらぬ多くの団体が利用されています。

プールは昨年の農業文化祭で試食していただきました本モロコを海洋高校が中心となつて養殖をしています。今年度は更に拡大した計画であると聞いています。養殖事業は

地域会議の援助を受けながら、地域産業への足掛かりとするための取組へと今後は進められていくものと感じます。

地元で産業を興して、若者の意見や希望を反映させる仕組み作りが今何よりも求められています。

その意味からも意義深いことが、今年の夏に実施される参議院選挙から18歳で選挙権が行使できることです。

これによって増加する新有権者は昨年末時点で、全国で240万人、そのうち宮津市は334人、上宮津では18人となるそうです。

高齢者が多くを占める宮津市の場合、新有権者は数字の上では極少数ですが、次の世代を見据えて自らの意見を反映する機会を得るということであり、働き場探しや社会保障制度など若い世代の声をいかに投票に結び付けていくかということが重要であろうと思えます。

新たな地域起こしの挑戦

地域会議会長 細見 節夫

小学校が閉校して一年にな
る。子供たちは上宮津の学校に
いなくなつたが、
上宮津地区の行事には大勢集
まつて元気を与えてくれる。上
宮津にはまだまだ里力が十分
あると感じている。
お宝である大江山・杉山・城
山の森林保全には百人を超え
る地区民に協力していただい
ている。また大手川のグリーン
作戦や運動場の清掃にも数多
くの地区民の奉仕活動があり、
地区の住民一人ひとりが地域
のために一致団結して協力し、
地域の再生に取り組む上宮津
の姿は今日いろいろいるところ
から評価されている。
フエースブックでも『上宮津
いいね』の評価は年々多くなつ
てきている。また上宮津地区か
ら都会へ出た人も上宮津地区
の現況をホームページで見
ただいており、フエースブッ
クでコメントをいただく人が
増えている。
さて私たちは、平成二十五年
三月に上宮津二千二十二年ビ
ジョンを策定し、超高齢化し人
口減少社会が進む中において

も里力を再生し、若者が増え
んなが健康で楽しく暮らすこ
との出来る元気な地域社会と
するのために挑戦していく方針
をみんなが確認した。
それからは二年経過し、上宮津
地区は閉校はあつたものの、モ
ロコの取組やサロンド・カミ
ヤヅ、オレンジカフェ、杉山・
大江山の森林保全・景観伐採、
城山の再開発、マイ防災マップ
の取組み、有線放送のメー
式への転換、さらにはホームペ
ージの開設などいろいろの挑
戦を行つてきた。その間地区の
各種団体のリーダーの皆さん
には大変な努力をお願いして
きた。私たちが今行っている地
域おこしの運動は人が増える
など結果が直に目に見える
るものではなく十年後二十年
後に開花する芽だしの運動で
ある。それだけに地道な粘り強
く継続して取り組む必要があ
り根気のある仕事である。
昔の成長時代のようにはすべ
く時代には自ら立候補するリ
ーダーを選挙で選んだが、今は
逆ですべての組織で自ら立候
補するリーダーが出ない状況
にある。
こうした世相の中で新たな課
題へ挑戦することに対する地

域社会全体としての情熱が弱
くなつてきていることも事実であ
る。
こうした厳しい現実がある
中で上宮津地区は地域会議を
事業主体として平成二十八年
度からさらに飛躍の挑戦を行
うことにした。
内容は、地域会議の広報十号
に掲載していただきたいが、今年
四月以降国の地域活性化支援
事業を受けて新たな地域起こ
しの取組を始めたいと考えて
いる。
具体的にはモロコなど地元
特産物の商品化による産業起
こしと上宮津地区に住んでく
れる人を増やす定住戦略と子
供たちや都会からの交流人口
を増やす取組みである。
出すすめ方は二月十九日に提
出した四月以降直ちに五カ年の
基本計画の計画ならびにビジ
ョンで決めていく取組を展開
して行く。この取組みの成否が
上宮津地区の今後を左右する
ものであると確信しており、上
宮津地区の総力体制で取り
んでいきたいと考えている。
地域住民の皆様の全面的な
御協力をお願いし、一緒に汗を

上宮津小学校と

宮津小学校が統合して

宮津小学校 校長 伊藤 正

上宮津小学校と宮津小学校が統合してから早一年が経とうとしています。この間、上宮津地区の保護者をはじめ、地域の皆様には子ども達が健やかに成長することを願い、様々な面において支援していただいておりますことに厚く感謝申し上げます。現在、宮津小学校は上宮津小学校と統合し、児童数も増え教職員48名が全校児童480名（20学級）の指導にあたっています。

上宮津地域は鳥が尾地区以外の児童は全てバス通学となっておりますが、徒歩通

学の児童もバス通学の児童もみんなが元氣よく登校しています。前年度には統合に向けての児童交流をいろいろな形で進めてきたこともあつて一年経過後の今、



本当にスムーズな統合が出来たこと学校としても大変うれしく思っています。これも保護者や地域の皆様に温かく見守られているおかげだと強く実感しています。本当にありがとうございます。ございました。

さて、上宮津小学校と統合したことで、校区が大きく広がりました。上宮津地域にある豊かな自然を体感する取組みもこの1年でたくさんできました。今年度は2年生が上宮津地域探検に出かけ、大江山スキー場で遊んだり、盛林寺で座禅体験をしたりしました。3年生は今福の滝に行き、京都府下最大の落差といわれる雄大

な滝をみんなで見学しました。また6年生は昨年に続き杉山観祭に出かけ、樹齢400年を過ぎる大きな杉の古木を見学したり、眼下に広がる宮津市街地の景色を堪能したりしました。上宮津地域が校区になったことで新しく実現できた学年での学習の一コマです。



これからも農林業体験なども含め、上宮津地域での学習がもっと深まり、地域の方との交流も進められると嬉しく思います。

最後に、バス通学の児童が雨風をしのげるように善光橋のバス停に待合所の設置をと行政等に要望してきましたが、このたび細見節夫自治連会長様にも働きかけていただく中で、宮津高校の建築科がバス待合所を作ってくださいました。材料となる杉板は白石裕久様にご提供いただき、またバス停を設置する場所は細見様にお貸しいただくなど、子ども達のことを心底思っていたいただいていることがよく感じられ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今回バス停留所設立に向けて地域の皆様のご尽力には、「地域の宝を地域で見守り、育てる」という上宮津の皆

様の温かいお気持ちあふれる出来事でした。現在は5月の設置に向けて、更に精力的に動いていただいています。

上宮津地区の子どもたちが元気に明るく健やかに学校生活を送っていることをこの紙面をお借りしご報告させていただきますとともに、今後とも宮津小学校へのご支援ご協力をどうかよろしく願います。

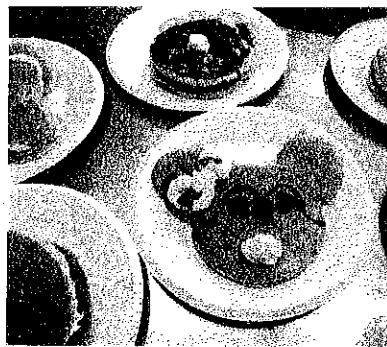
お菓子作りと人権研修

平成28年2月28日(日)

上宮津小学校の閉校後初めてとなる保護者と子どもとの交流会を行いました。

前半は、調理室でホットプレートを使ってどら焼きを作りました。

卵を溶いた生地を焼き上げ、その中にあずきやイチゴジャム、チョコレート、生クリームなど思い思いの餡子を包み込みます。形はミッキーマウスあり、熊さんあり、ハンバーガーのようなものと様々で、子どもならではの思いつかないユニークな



発想のものが出来上がりました。

後半はどら焼きを食べながら子ども向け人権アニメのDVDを鑑賞しました。日常生活を通じた出来事を子ども目線で理解を深めていくという内容であり、低学年にも分かり易かったと思います。

当日は、民生児童委員様や青少年体験活動推進委員様にも声掛けをさせていただき協力をして頂きました。



上宮津地区健康広場だより

『歩きを通して健康寿命を伸ばそう』と始まった宮津市の健康づくり事業は、『ピンコロ』『生涯現役』と表現をされ市民生活の中にかかなり浸透してきました。その効果もあってか最近では、朝早くからウォーキングする人の姿を見かけられます。『健康な体づくり』に『歩き』は誰にも手軽にできる運動です。皆様も是非『歩き』を日常生活に取り入れてください



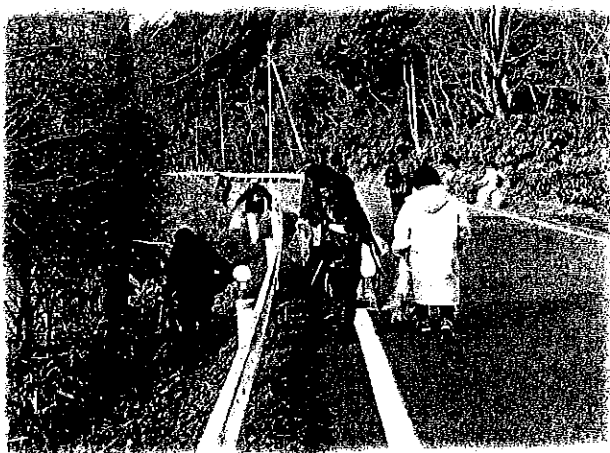
9/13 黄金田園ウォーク

準備体操、血圧測定、体脂肪測定をした後で金山から古心方面を歩きました。午後は、スタッフが作った軽食を食べてから体力テストをしました。



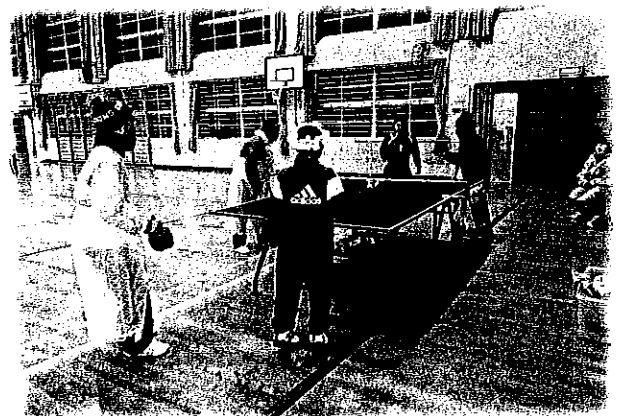
9/7 ニュースポーツ教室

9月7、29日の両日宮津市スポーツ推進委員の皆様による地域巡回指導がありました。ユニカール、ビーチボールバレーをしました。



3/13 陽春ウォーク

雪融けの大江山から中の茶屋めざして府道沿いのゴミを拾いながら歩きました。余りの多さに途中で引き返すありさまでした。



毎月 第一月曜日の 健康広場

8月から毎月第1月曜日の夜に誰もが親しみやすいスポーツをしています。冬場は卓球やビーチボールバレーをしました。

こんなことをしました

7/24 健康づくり講演会

千歳会、今福福寿会と公民館の共催で行いました。宮津市包括支援センターから『認知症の予防と寝たきりにならない今からの生活習慣』《もし、なってしまったらどうするか》の講演に続き、椅子に座ってできる認知症予防体操をしました。



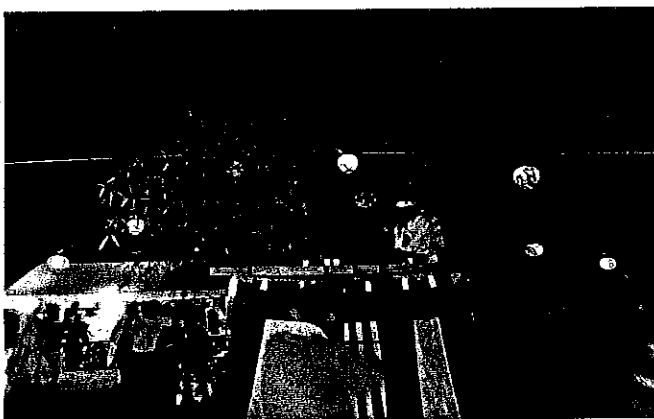
8/2 大掃除

大掃除日和となりました。日頃ご利用いただいている団体に呼び掛けて多くの皆様で行うことができました。伸びすぎた桜の枝や庭木の剪定と普段できないところまできれいにさせていただきました。



8/14 盆踊り

今年は好天に恵まれた保育所の園庭で行いました。閉校後ということもあり、踊り、食べ、話し、とてもにぎわっていました。これからも故郷の行事として守り伝えましょう。



9/20 敬老会

今年は17名と多くの方が米寿を迎えられました。開会挨拶と祝辞に続き、記念品の授与がありました。続く余興は、エンジェルの『安来節』『ソーラン節』と久しぶりの『カラオケ大会』で盛り上がった後『上宮津音頭』で締めくくりました。





10/11 運動会

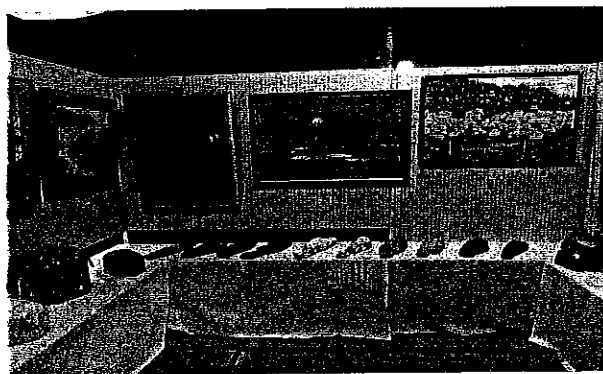
閉校後初めてとなる運動会でしたが、小学校の子どもたちが大勢参加してくれてとても華やいだ雰囲気の中で開催できました。体育協会に出場種目を見直していただき参加しやすくなりました。

結果は優勝喜多、準優勝鳥が尾、3位松縄手チームでした

11/14.15 農業文化祭

今年も多くの作品を出展していただき盛大に行うことができました。

今年度は小学生の作品がなくて寂しかったですが、プールで養殖したホンモロコいの天ぷらの試食会をしました。くせがなく柔らかで美味しい魚でした。



12/5 しめ縄講習会

年末の恒例行事となったしめ縄作りです。今では手に入れることがもち米の藁を地元の農家からいただいています。初心者から師範級の人までが助け合いながらお正月用を作り上げています。

1/9 新春お楽しみ会

今ではめったに見かけなくなった福笑いの光景です。子どものびのび活動の一環で昔ながらのお正月遊びをしています。公民館活動推進委員や民生児童委員様、老人会の皆様とともに行っています。



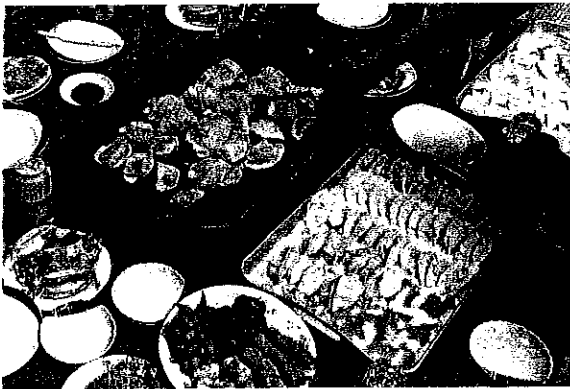


2/11 新春囲碁大会

今年の干支えとにちなんで、19人の参加者が
きるすべり百日紅組と猿飛組の2チームに分かれ、
 6時間に及ぶ熱戦が繰り広げられました。
 猿飛組は野口善助様。百日紅組は細見慎二
 様が優勝されました。

2/18 地域健康づくり講座

健康運動指導士の家谷美穂子氏を講師
 に「運動面からの健康づくり」と題し
 て室内での体操をしました。ストレッチ
 と筋トレで体をほぐし、日常の生活
 習慣での肩こりや体型の歪みを矯正し
 ました。



3/6 男の料理教室

家庭で簡単にできるヘルシーな餃子
 を作りました。豚挽肉、キャベツ、ニラ
 と調味料を混ぜて種をつくり、中力粉
 を捏ねて作った皮で包みました。大き
 さや形は様々でしたがおいしく出来上
 がりました。

今年度の主な

公民館行事予定

- 4月8日(金) 公民館運営審議会
- 6月上旬 上宮津地区駅伝
- 7月31日(日) 地区公民館大掃除
- 8月14日(日) 上宮津区盆踊り
- 9月18日(日) 敬老会
- 10月9日(日) 運動会
- 11月12日(土) 農業文化祭
- 11月13日(日)
- 毎月第1月曜日夜 月いち健康広場